

尿検査の
注意項目



検診の尿検査で何が分かるのですか？
また、どの項目に注意すればいいですか？

A

尿検査はおしつこから体のさまざまな状態を知る検査です。おしつこは私たちの目にも分かる大きな変化の前にミクロの世界で小さな変化を起こし、トラブルを知らせます。



無症状なことが多い腎臓病を早期に発見できる「最も簡単で有効な検査」が検尿です。検尿異常を指摘されたら、自覚症状や見た目に異常がなくてもかかりつけ医や専門の医師に相談してください。



高知高須病院
腎臓内科部長 池辺 弥夏さん

よる腎障害で、放つておくと腎臓機能が徐々に低下して腎不全になる可能性もあります。尿潜血反応は、尿に血が混ざっている（血尿）か調べる検査で、代表的な原因是、慢性腎炎、尿路結石、尿路系悪性疾患などであります。検尿異常を指摘されたら、自覚症状や見た目に異常がなくてもかかりつけ医や専門の医師に相談してください。

タンパクが持続して混じるタンパク尿は、腎臓に障害があることを示しています。代表的な原因は、慢性腎炎や糖尿病に

高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377 (腎臓内科)